

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

12月号



学校教育目標
笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

学校ホームページ更新中

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/naranooka/>

防災総合訓練に参加して

校長 中 篤 弘 喜

先日、地域防災拠点の防災総合訓練が実施されました。奈良の丘小学校は、災害が起こったときの避難場所となっていて、発災後の避難所開設のための訓練でしたが、水消火器を使用した初期消火体験や心肺蘇生法の講習もあり、普段経験できないことができました。本校の児童も参加し、指導員の方から心肺蘇生の方法を習うことができました。



11/23 地域 心肺蘇生法

東日本大震災から4年と9か月近くが経ちます。震災直後は誰もが災害への備えとして、訓練に多くの方が参加していました。しかし、時間の経過とともに意識が薄れ、訓練への参加人数も減ってきているのが現実です。

学校では、地震や火災に対する訓練だけでも年7回行っています。6年間で42回になります。子どもたちは回を重ねる度に、いち早く危険を回避し安全に非難することができるようになります。全校児童が校庭に静かに整列するまで5分かかりません。

しかし、災害は学校にいる間に起こるとは限りません。1年365日24時間のうち在校時間中の割合は18%です。在宅中や外出中に災害が発生する割合が82%にもなります。子どもが一人でいる時に災害が起こることも考えられます。災害に遭遇する場所や状況によって、危険を回避するために自分で判断して行動することを迫られことになり、誰かの指示を待っていたのでは、自らの生命を守ることができないかもしれません。



11/4 学校 消火器体験

最近の防災教育の考え方は、「主体的に行動する態度」の育成とそれを支える「自らの危険を予測し、回避する能力を高める」ことです。本校においても、日常的な備えと直面した災害から生命を守る能力を高められるように充実した防災教育に努めています。防災教育のねらいのひとつとして、他への気配りと地域の防災活動・助け合い活動への参加があります。来年の地域防災訓練にも、多くの子どもたちが参加してくれることを期待しています。